

電気・振動刺激を併用しながら前腕の運動をサポート 前腕回内回外リハビリ装置の臨床研究機を開発

当社は長期経営計画「2025年ビジョン」に掲げるヒューマトロニクス事業領域確立に向けて、前腕回内回外^{※1}リハビリ装置の臨床研究機を開発しました。本装置は、2017年9月に製品化している上肢リハビリ装置CoCoroe AR²に続く、前腕の回内・回外運動のリハビリに特化した装置です。

当社は2015年に本リハビリ装置の機能評価用プロトタイプの開発に着手し、技術改良を重ね製品化に向けて機能向上に取り組んできました。今後は実用化・普及に向けた臨床研究を実施することで開発をさらに加速していきます。

※1：前腕部の運動の一つで、手を内側に回す(手の平が下に向く)運動を回内運動、手を外側に回す(手の平が上に向く)運動を回外運動と呼びます。



CoCoroe



前腕回内回外リハビリ装置(臨床研究機)

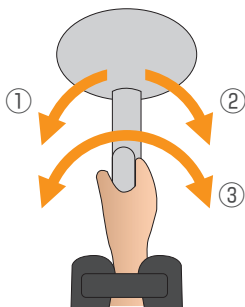
装置の概要

本装置は、脳血管疾患や整形疾患などによる前腕回内・回外運動機能障がいを持つ方を対象に、電気・振動刺激を併用しながら、前腕の運動をサポートする装置です。

前腕の回内・回外運動は、日常生活のあらゆる動作に用いられており、患者の回内・回外機能が回復することは、ADL^{※2}改善にとって非常に重要となります。

リハビリを受ける人に合わせて訓練モード、可動域(訓練角度)を設定し、適切な反復訓練を行うことができます。使用する患者さんに合わせて下記①～③の訓練モードが選べます。

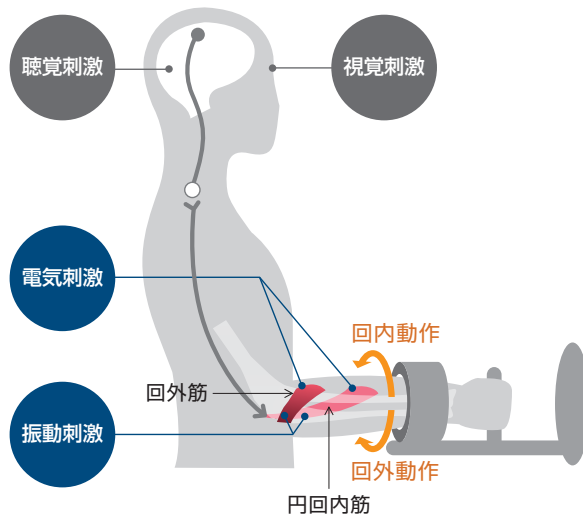
- ① 回内訓練モード
- ② 回外訓練モード
- ③ 回内外訓練モード



※2：ADL (Activities of daily living)とは、食事・行為・移動・排泄・入浴など生活を営む上で不可欠な基本的行動を指します。

主な特長

- 適切な可動域で反復練習ができます。
- 主動作筋に適切なタイミングで電気・振動刺激を与えることで、目的とした運動をしやすくします。
- 目的に応じた訓練モードを選択できます。
- 訓練部位を見て(視覚刺激)、動かす方向を音で確認します(聴覚刺激)。



● お問い合わせ先：営業本部 ヒューマトロニクス営業部 技術開発課 TEL: 04-2962-5823 FAX: 04-2962-6082